

## 『授業づくりのイメージをもつ研修に ～表現活動を位置づけた授業づくりを学ぶ～』研修

本研修は、iPad を日常の授業で使い始めたけれど、もっと学習者主体の授業づくりをしたいと考えている先生方に受講していただきたい研修です。

### ●準備物・・・・・・・・

- 本研修は、ワークショップ型のため、受講者の皆さんには ZOOM 接続用のデバイスと iPad が必要になります。使用アプリは Clips です。また、Clips のバージョンは、最新にして（現在は Version 3.0）受講するように受講者にご連絡ください。
- 必要に応じて、Clips の使い方のテキスト、提示用スライド、講師用手引き等、必要なものをダウンロードして印刷し、受講者に配布してください。
- 対面で実施する場合は、拡大提示装置あるいは P J とスクリーンが必要です。

### ●講師の方へ・・・・・・・・

※事前に流れを確認しておきましょう。実施時間は 60 分となっておりますが、話し合いの時間や制作時間を調整して時間を変更することも可能です。事前に検討しておきましょう。

※スライド内にある解説や事例の映像は、全て YouTube にリンクづけされています。ネットワークに接続してご使用ください。You Tube からの動画を配信した後に、そのままにしておくると他の動画が流れてしまいます。きちんと、終了しましょう。

※3 本の事例を扱います。講師の方は事前に視聴し、概要を解説できるようにしておきましょう。

※オンライン研修では、接続の URL が見つからなくなったとか、ネット接続が切れてしまったとかのトラブルが発生することがあります。事前に、研修担当者（講師以外）の連絡先を受講者に案内しておく、突然のトラブルに対応することができます。また、研修を進行する「講師」以外に、チャット（質問）対応、トラブル対応などは役割分担することが望ましいです。

※できた作品の提出箱が必要となります。以下の 2 つの方法をおすすめします。

案 1) 研修担当で、提出先(共有フォルダ)を用意し、提出してもらう

案 2) (対面実施の場合に限定されますが) Air Drop で共有する。

※共有フォルダについて、以下のようなものもあります。ご参考まで。

【事前の登録が不要なもの】

- firestorage(アップロードスペースを作成する)

<https://firestorage.jp>

【事前に登録が必要なもの】

・Dropbox ・iCloud ・padlet ・Google ドライブ ・Microsoft OneDrive

●研修の主な流れ . . . . .

時間	講師の指示	留意点
0-10 (10 分間)	<ul style="list-style-type: none"><li>●スライド 1 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・資料の確認をする。</li><li>・研修のテーマと講師の自己紹介</li></ul></li><li>●スライド 2 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・スケジュールについて、スライドをもとに解説する。</li></ul></li><li>●スライド 3 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・研修のねらいについて、スライドをもとに解説する。</li></ul></li><li>●スライド 4 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・「総論：教育の情報化の促進」（D-project 会長中川一史/放送大学教授の講義）</li></ul></li><li>●スライド 5 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・「情報活用能力」に関する解説（D-project 副会長前田康裕/熊本大学准教授の講義）</li></ul></li><li>●スライド 6 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・「メディア創造力」についての解説 D-project 副会長佐藤幸江/放送大学客員教授の講義）</li></ul></li><li>●スライド 7 提示<ul style="list-style-type: none"><li>・タブレット端末の活用に関して、スライドをもとに簡単に解説する。</li></ul></li><li>●スライド 8 提示</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>□「事例集」等、必要な資料を事前に印刷をしておく。</li> <li>□本研修は、実施時間は 90 分である。実施機関により調整しておく。特に、受講者のニーズや経験値によって、時間の割振の検討をしておく。</li> <li>□理論編は 3 本ある。「総論」は必ず視聴してほしい。</li><li>□スライド内にある映像は、タップすることで開始される。You Tube からの動画は、きちんと終了する。</li><li>□学習の基盤として学習指導要領に明記された「情報活用能力」の解説。</li><li>□メディアで表現する力としての「メディア創造力」を育成するための授業デザインや到達目標等の解説。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの活動の分類を示した図を簡単に解説する。</li> <li>●スライド 9 提示</li> <li>・ 本日のゴールを示す。</li> </ul>	<p>□事例を視聴→授業イメージをもつ→映像で授業を表現</p>
<p>10-40 (30 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド 10 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part1～（説明）」を簡単に解説する。</li> <li>●スライド 11 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part1～」を視聴する。</li> <li>・ 視聴後、感想や意見を交流し、学習者主体の授業イメージを広げる。</li> <li>●スライド 12 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part2～（紹介）」を簡単に解説する。</li> <li>●スライド 13 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part2～」を視聴する。</li> <li>・ 視聴後、感想や意見を交流し、学習者主体の授業イメージを広げる。</li> <li>●スライド 14 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part3～（紹介）」を簡単に解説する。</li> <li>●スライド 15 提示</li> <li>・ 「事例から学ぶ～Part3～」を視聴する。</li> <li>・ 視聴後、感想や意見を交流し、学習者主体の授業イメージを広げる。</li> <li>●スライド 16 提示</li> <li>・ これまでの事例を視聴して見つけた「授業づくりのキモ（ポイント）」について整理する。</li> </ul>	<p>□事例を印刷して配付している場合にはその確認もする。</p> <p>□You Tube からの動画は、きちんと終了する。</p> <p>□意見が出ない場合には、「説明」の授業場面はたくさんあると思うので、これまでの授業との違いを考えさせるとよい。</p> <p>□「紹介」の事例である。特に相手意識や目的意識をもって活動しているよさに着目させるとよい。</p> <p>□中学校の事例であるが、小学校でも同じような活動の設定はできる。特に、どのような写真や動画を使い、どのような言葉を載せているか感じとってもらいたい。時間によっては、研修後の個人視聴にすることもできる。</p>

<p>40-45 (5 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド 17 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Clips の操作「ビデオや写真を撮る方法」を視聴する。</li> </ul> </li> <li>●スライド 18 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Clips の操作「テキストやステッカー絵文字などを入れる方法」を視聴する。</li> </ul> </li> <li>●スライド 19 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ D-project のサイトの紹介をする。</li> </ul> </li> </ul>	<p>□受講者のニーズやこれまでの活用状況で、基本操作のみにするか、2 本目も視聴するか事前に決めておく。</p>
<p>45-85 (40 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド 20 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えた「学年・教科・単元」を具体的な授業案にしていく。</li> </ul> </li> <li>●スライド 21 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用場面を具体的にイメージする。</li> </ul> </li> <li>●スライド 22 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのような活用をイメージしたか、Clips を使って映像で表現する。</li> </ul> </li> <li>●スライド 23 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制作する。</li> <li>・ 「提出箱」の使い方を案内する。</li> <li>・ 途中で「あと、○分です」等の声かけ</li> </ul> </li> <li>●スライド 24 提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 互いが作成した映像を見合ったり、感想を交流し合ったりする。</li> </ul> </li> </ul>	<p>□ここで少しアイデア出しをする時間をとるとよい。</p> <p>□なかなかイメージが広がらない先生もおられると思うので、事例集を見るように促す。</p> <p>□本研修では、ここでの活動時間を 40 分間として設定している。制作の時間を 30 分、その後の発表と話し合いを 10 分で設定しているが、受講者の経験値によって「25 分-15 分」のように変更するとよい。</p> <p>□受講者によっては、提出に時間がかかることがあるので、注意が必要。</p> <p>□全て完成できない時には、自己研鑽でチャレンジしてほしいことを伝える。</p>

<p>85-90 (5 分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●スライド 25 提示</li><li>・学習者が主体的に Clips を活用して表現活動を授業に取り入れていくよさについて、解説を加える。</li><li>●スライド 26 提示</li><li>●スライド 27 提示</li><li>・研修終了</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/>他にも、2つの研修パッケージがあることを知らせる。</li><li><input type="checkbox"/>このスライドを提示して終了する。</li></ul>
-------------------------	--	--